

69 黄体ホルモン製剤とバイパス脂肪酸を用いたウシ受精卵多数生産技術

福島県畜産試験場 沼尻支場・平成12年度畜産試験場成績概要

1 部門名 畜産－肉用牛－畜産繁殖 分類コード 07－02－38000000

2 担当者 鎌田泰之・齋藤美緒・佐藤亮一 * 1 (* 1 相双家畜保健衛生所)

3 要 旨

発情周期をコントロールする黄体ホルモン製剤と β －カロチン含有バイパス脂肪酸を含む添加飼料を併用することで、ウシ受精卵を多数確保する技術を検討した。

黄体ホルモン製剤を膈内に留置しながら、添加飼料を1日200g給与して採卵した場合移植可能卵数は6.3個であり、給与しない区の4.8個と比べ多い傾向であった。連続して2回目の採卵を行った場合にも、移植可能卵数は8.8個であり、採卵成績は向上した。続いて添加飼料を1日300gに増やして給与したところ、連続2回までの平均移植可能卵数はほぼ同等であったが、そのうち優良受精卵数は5.0個であり、200g給与した場合の3.4個よりも多かった。さらに3回目の採卵においても優良受精卵数は4.8個と2回目とほぼ同様な成績が得られた。

以上の結果から、黄体ホルモン製剤と β －カロチン含有バイパス脂肪酸の併用は有効であり、より多くの受精卵が得られることが示唆された。また、採卵後、人工授精を実施し、供試牛(黒毛和種)8頭中7頭が受胎したことから、繁殖性への影響はないと思われた。